



平成30年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成30年2月9日

上場取引所 東

上場会社名 プレス工業株式会社

コード番号 7246 URL <http://www.presskogyo.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 角堂 博茂

問合せ先責任者 (役職名) 総務部長 (氏名) 小西 久子 TEL 044-276-3901

四半期報告書提出予定日 平成30年2月9日 配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無：無

四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第3四半期の連結業績（平成29年4月1日～平成29年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第3四半期	157,528	20.4	8,767	42.4	8,884	60.6	5,249	52.1
29年3月期第3四半期	130,815	△9.2	6,156	△11.4	5,532	△12.3	3,451	0.3

(注) 包括利益 30年3月期第3四半期 8,231百万円 (384.7%) 29年3月期第3四半期 1,698百万円 (△17.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第3四半期	48.33	—
29年3月期第3四半期	31.77	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年3月期第3四半期	168,261	87,359	48.9	758.06
29年3月期	160,293	80,664	47.9	706.38

(参考) 自己資本 30年3月期第3四半期 82,343百万円 29年3月期 76,730百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	5.00	—	6.00	11.00
30年3月期	—	6.00	—		
30年3月期(予想)				6.00	12.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成30年3月期の連結業績予想（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	203,000	8.8	10,600	22.7	10,500	29.6	6,300	19.7	58.00

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社 （社名） 、除外 一社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年3月期3Q	114,007,210株	29年3月期	114,007,210株
② 期末自己株式数	30年3月期3Q	5,383,983株	29年3月期	5,382,533株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	30年3月期3Q	108,624,044株	29年3月期3Q	108,625,864株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（1）経営成績に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における当社グループの国内事業環境は、以下の通りであります。

自動車関連事業につきましては、普通トラックの国内需要は、9月以降の排ガス規制前の駆け込み需要の反動減により、前年同期比2.9千台減の66.1千台となり、輸出も低調に推移しました。

小型トラックの国内需要は、物流関連の需要に支えられ、前年同期比0.7千台増の75.2千台となり、輸出は前年同期と同水準となりました。

建設機械関連事業につきましては、油圧ショベルの国内需要は、10月以降の排ガス規制前の駆け込み需要の反動減がありましたが、前年同期に比べ増加しました。輸出は、世界的な建設需要の増加により、前年同期に比べ増加しました。

海外の事業環境は、次の通りであります。

タイ：1トンピックアップトラック需要は好調でしたが、輸出は低迷し、タイ国内生産台数は前年同期と同水準となりました。

米国：自動車需要は前年同期に比べ減少しましたが、ピックアップトラック・SUVは好調を維持しました。

中国：建設機械需要は公共投資関連が好調を維持し、前年同期に比べ増加しました。

インドネシア：自動車需要は回復基調にあります。

スウェーデン：欧州の自動車需要は堅調に推移し、前年同期に比べ増加しました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は1,575億28百万円（前年同期比20.4%増）となり、営業利益は87億67百万円（前年同期比42.4%増）、経常利益は88億84百万円（前年同期比60.6%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は52億49百万円（前年同期比52.1%増）となりました。

セグメント別の業績は、以下の通りであります。

(自動車関連事業)

当社の普通トラック用部品の生産・販売は、国内向けは減少しましたが、輸出向けはノックダウン部品が増加したため、前年同期に比べ増加しました。小型トラック用部品の生産・販売は、輸出向けでノックダウン部品の増加がありましたが、前年同期に比べ減少しました。

海外子会社の状況は、次の通りであります。

タイ：TSPKKグループにおける1トンピックアップトラックの生産・販売は、現行受注部品の仕向地拡大により、前年同期に比べ増加しました。

米国：PK U. S. A., INC. の生産・販売は、ピックアップトラック・SUVが堅調に推移したため、前年同期に比べ増加しました。

インドネシア：PT. PK Manufacturing Indonesiaの中・小型トラック用フレームの生産・販売は、新規受注部品の生産本格化により、前年同期に比べ増加しました。

スウェーデン：PRESS KOGYO SWEDEN ABの生産・販売は前年同期に比べ増加しました。

以上の結果、当セグメントの売上高は1,333億31百万円（前年同期比17.4%増）となり、セグメント利益は96億94百万円（前年同期比16.0%増）となりました。

(建設機械関連事業)

当社および当社子会社協和製作所の生産・販売は、前年同期に比べ増加しました。

海外子会社の状況は、次の通りであります。

中国：当社子会社蘇州普美駕駛室有限公司（PM CABIN MANUFACTURING CO., LTD.）と普萊斯工業小型駕駛室（蘇州）有限公司（PRESS KOGYO MINI CABIN (SUZHOU) CO., LTD.）の生産・販売は、前年同期に比べ増加しました。

以上の結果、当セグメントの売上高は255億82百万円（前年同期比46.1%増）、セグメント利益は18億57百万円（前年同期比258.4%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結累計期間末における総資産は、1,682億61百万円となり、前連結会計年度末比79億68百万円の増加となりました。その主な要因は、受取手形及び売掛金、投資その他の資産の増加によるものであります。

負債は、809億2百万円となり、前連結会計年度末比12億73百万円の増加となりました。その主な要因は、支払手形及び買掛金の増加によるものであります。

純資産は、873億59百万円となり、前連結会計年度末比66億94百万円の増加となりました。その主な要因は、利益剰余金の増加によるものであります。

以上の結果、自己資本比率は48.9%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年3月期の連結業績予想につきましては、平成29年11月8日付で公表した予想を変更いたしません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	20,456	21,255
受取手形及び売掛金	34,533	39,006
商品及び製品	1,351	1,245
仕掛品	9,601	10,798
原材料及び貯蔵品	1,095	1,277
未収還付法人税等	19	41
その他	3,251	3,168
貸倒引当金	△10	△10
流動資産合計	70,297	76,783
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	12,926	12,538
機械装置及び運搬具（純額）	22,571	22,030
土地	31,915	31,937
その他（純額）	10,541	10,755
有形固定資産合計	77,954	77,262
無形固定資産		
その他	810	615
無形固定資産合計	810	615
投資その他の資産		
退職給付に係る資産	1,280	1,579
投資その他の資産	10,024	12,094
貸倒引当金	△74	△74
投資その他の資産合計	11,230	13,600
固定資産合計	89,995	91,477
資産合計	160,293	168,261
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	22,834	25,587
電子記録債務	5,076	5,573
短期借入金	14,360	11,742
1年内償還予定の新株予約権付社債	—	10,000
未払法人税等	909	612
賞与引当金	3,017	1,834
引当金	145	87
その他	6,742	8,663
流動負債合計	53,085	64,101
固定負債		
転換社債型新株予約権付社債	10,000	—
長期借入金	4,941	4,305
再評価に係る繰延税金負債	7,601	7,601
引当金	52	27
退職給付に係る負債	1,163	1,278
資産除去債務	409	410
その他	2,374	3,177
固定負債合計	26,543	16,800
負債合計	79,628	80,902

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,070	8,070
資本剰余金	2,075	2,075
利益剰余金	46,501	50,448
自己株式	△1,198	△1,199
株主資本合計	55,448	59,394
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,780	4,220
土地再評価差額金	17,255	17,255
為替換算調整勘定	1,628	1,666
退職給付に係る調整累計額	△382	△193
その他の包括利益累計額合計	21,282	22,949
非支配株主持分	3,933	5,015
純資産合計	80,664	87,359
負債純資産合計	160,293	168,261

（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

（四半期連結損益計算書）

（第3四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第3四半期連結累計期間 （自平成28年4月1日 至平成28年12月31日）	当第3四半期連結累計期間 （自平成29年4月1日 至平成29年12月31日）
売上高	130,815	157,528
売上原価	115,399	138,201
売上総利益	15,416	19,327
販売費及び一般管理費	9,259	10,560
営業利益	6,156	8,767
営業外収益		
受取利息	24	23
受取配当金	147	151
固定資産賃貸料	53	50
為替差益	—	165
その他	34	42
営業外収益合計	259	434
営業外費用		
支払利息	261	280
為替差損	587	—
その他	34	37
営業外費用合計	883	317
経常利益	5,532	8,884
特別利益		
固定資産売却益	34	1
投資有価証券売却益	0	—
保険差益	73	0
国庫補助金	163	—
特別利益合計	272	1
特別損失		
固定資産除却損	35	93
固定資産売却損	19	14
固定資産圧縮損	129	—
特別損失合計	184	107
税金等調整前四半期純利益	5,619	8,778
法人税、住民税及び事業税	1,461	1,783
法人税等調整額	326	529
法人税等合計	1,787	2,313
四半期純利益	3,831	6,465
非支配株主に帰属する四半期純利益	380	1,215
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,451	5,249

（四半期連結包括利益計算書）
 （第3四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第3四半期連結累計期間 （自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日）	当第3四半期連結累計期間 （自 平成29年4月1日 至 平成29年12月31日）
四半期純利益	3,831	6,465
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,080	1,440
為替換算調整勘定	△3,336	138
退職給付に係る調整額	122	188
その他の包括利益合計	△2,133	1,766
四半期包括利益	1,698	8,231
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,872	6,916
非支配株主に係る四半期包括利益	△173	1,314

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間（自平成28年4月1日 至平成28年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	自動車 関連事業	建設機械 関連事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	112,999	16,143	129,143	1,672	130,815	—	130,815
セグメント間の内部売上高 又は振替高	611	1,367	1,978	—	1,978	△1,978	—
計	113,611	17,510	131,122	1,672	132,794	△1,978	130,815
セグメント利益	8,357	518	8,875	7	8,883	△2,727	6,156

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、立体駐車装置事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△2,727百万円には、セグメント間取引消去13百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△2,740百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社の本社管理部門等に係る費用であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間（自平成29年4月1日 至平成29年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	自動車 関連事業	建設機械 関連事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	132,325	23,615	155,941	1,586	157,528	—	157,528
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,005	1,966	2,971	—	2,971	△2,971	—
計	133,331	25,582	158,913	1,586	160,499	△2,971	157,528
セグメント利益	9,694	1,857	11,551	3	11,555	△2,788	8,767

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、立体駐車装置事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△2,788百万円には、セグメント間取引消去△16百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△2,771百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社の本社管理部門等に係る費用であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。